

# グローバルAIファンド

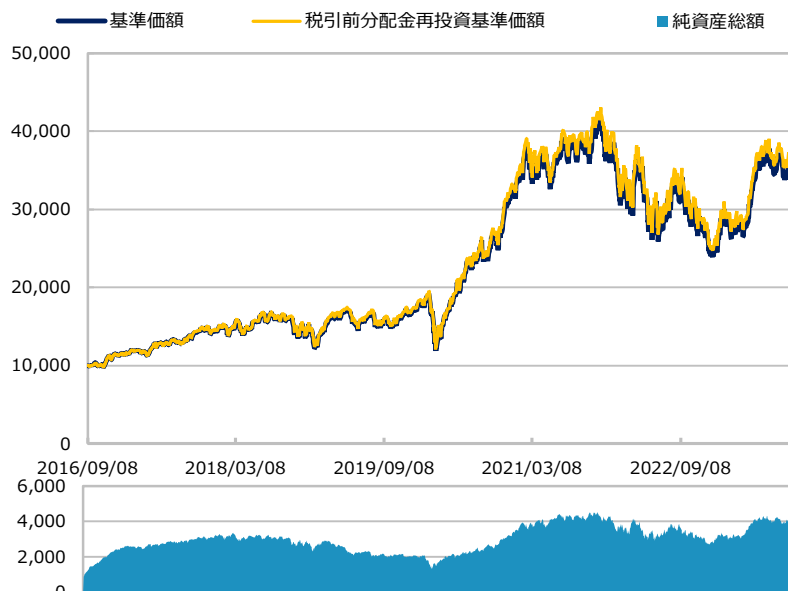
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2023年10月31日

ファンド設定日：2016年09月09日

日経新聞掲載名：グローバルAI

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	31,883	-2,688
純資産総額（百万円）	363,867	-30,920

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 カ月	2023/09/29	-7.8
3 カ月	2023/07/31	-13.0
6 カ月	2023/04/28	18.5
1 年	2022/10/31	5.9
3 年	2020/10/30	26.9
設定来	2016/09/09	232.8

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第3期	2019/09/25	0
第4期	2020/09/25	200
第5期	2021/09/27	350
第6期	2022/09/26	0
第7期	2023/09/25	300
設定来累計		1,100

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	99.4	+0.2
現金等	0.6	-0.2
合計	100.0	0.0

※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」です。

## 基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式等	-2,640	+2	-2,642
先物等	0	0	0
為替	+7	-	-
分配金	0	-	-
その他	-56	-	-
合計	-2,688	+2	-2,642

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

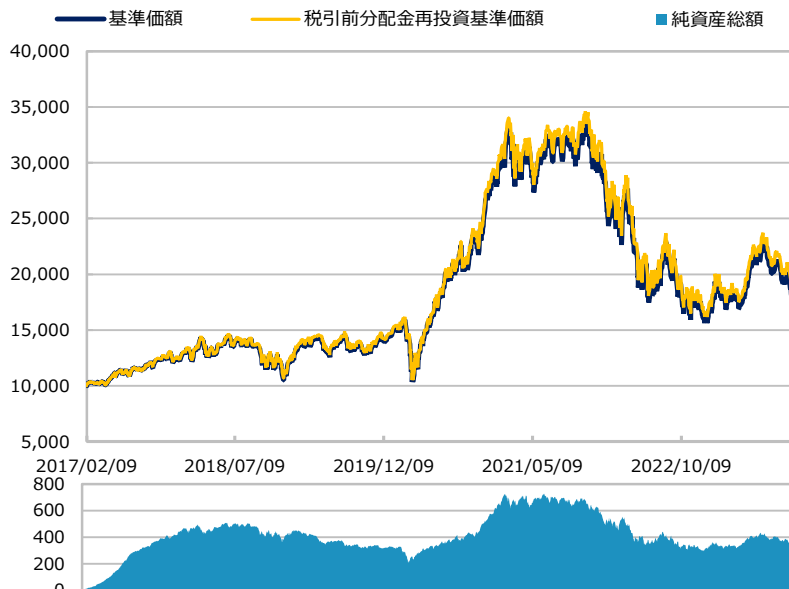
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2023年10月31日

ファンド設定日：2017年02月10日

日経新聞掲載名：グローバルAI有

## 基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

## 基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	17,914	-1,599
純資産総額（百万円）	34,038	-3,420

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

## 騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1 カ月	2023/09/29	-8.2
3 カ月	2023/07/31	-19.1
6 カ月	2023/04/28	4.4
1 年	2022/10/31	0.1
3 年	2020/10/30	-18.9
設定来	2017/02/10	86.9

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

## 最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第3期	2019/09/25	0
第4期	2020/09/25	200
第5期	2021/09/27	300
第6期	2022/09/26	0
第7期	2023/09/25	150
設定来累計		850

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

## 資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入マザーファンド	100.3	-1.6
現金等	-0.3	+1.6
合計	100.0	0.0

**為替ヘッジ比率** 103.2 +3.5

- ※ 組入マザーファンドの正式名称は「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」です。
- ※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

## 基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式等	-1,482	+1	-1,483
先物等	0	0	0
為替	-86	-	-
分配金	0	-	-
その他	-32	-	-
合計	-1,599	+1	-1,483

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

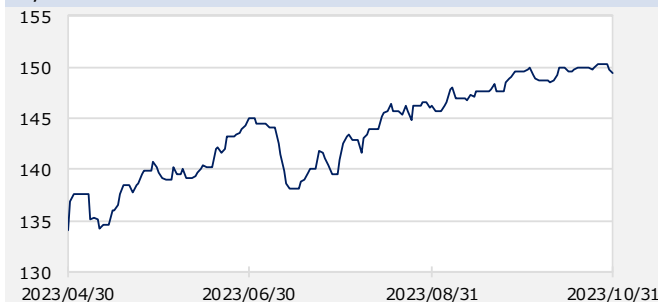
## 市場動向

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（アメリカドル建て）



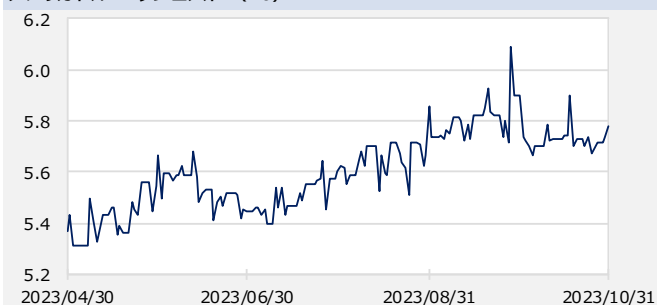
当月騰落率：-3.0%

円/アメリカドル（円）



当月末：149.5 前月末：149.6 騰落率：0.0%

アメリカドル ヘッジコスト（%）



当月末：5.78% 前月末：5.90% 変化幅：-0.12%

※ DataStream等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。

※ 為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。

※ ヘッジコストは該通貨の対円のスポットレートと1か月物フォワードレートを用いて算出し年率換算した値です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

※ このページは「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」の情報を記載しています。

## 規模別構成比率 (%)

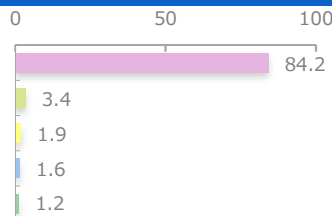
	当月末	前月比
大型株式	69.5	-1.1
中型株式	19.0	-1.9
小型株式	5.4	+3.2
その他	1.6	+0.0

※ MSCI AC World のLarge Cap、Mid Cap、Small Cap インデックスに基づく分類です。

※ その他はいずれのインデックスにも含まれない銘柄です。

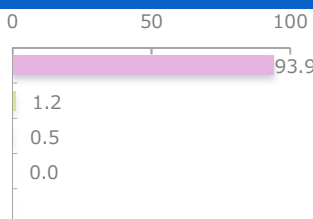
## 組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカ	84.2	+0.0
2 カナダ	3.4	-0.1
3 中国	1.9	-0.1
4 イギリス	1.6	+0.0
5 フランス	1.2	+0.1



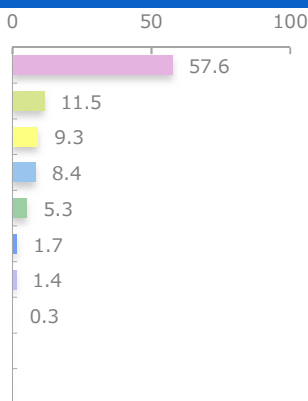
## 組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカドル	93.9	+0.2
2 日本円	1.2	+0.1
3 香港ドル	0.5	-0.0
4 韓国ウォン	0.0	+0.0



## 組入上位10業種 (%)

	当月末	前月比
1 情報技術	57.6	-0.4
2 コミュニケーション・サービス	11.5	+1.9
3 一般消費財・サービス	9.3	+0.6
4 ヘルスケア	8.4	-1.0
5 金融	5.3	+0.2
6 素材	1.7	-0.4
7 不動産	1.4	+0.1
8 資本財・サービス	0.3	-0.7



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォー・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## 組入上位10銘柄（%）

（組入銘柄数 70）

銘柄	国・地域/業種	比率	コメント
1	エヌビディア アメリカ 情報技術	5.4	画像処理装置（GPU）世界最大手で設計・開発・販売を手掛ける。同社はエッジAIとロボティクス向けのJetsonプラットフォームを大幅に拡張。また、企業の迅速な生成AI導入を支援するため、同社はレノボとパートナーシップを拡大すると発表。
2	メタ・プラットフォームズ アメリカ コミュニケーション・サービス	4.6	世界中で20億人以上の月間アクティブユーザーを有する最大のソーシャルネットワーキングウェブサイト運営。FacebookとInstagramで欧州を対象に広告なしの有料サービスを提供すると発表。また、市場予想を上回る第3四半期決算を発表。
3	アマゾン・ドット・コム アメリカ 一般消費財・サービス	4.6	オンライン小売世界最大手企業。小売店、運送、クラウド・コンピュータ・インフラ、広告、革新的なハードウェア・プラットフォームを提供。第3四半期決算は経費削減等が業績に寄与し売上高、利益ともに市場予想を上回った。クラウド事業も前期比増収。
4	テスラ アメリカ 一般消費財・サービス	4.5	AI技術を活用した自動運転機能を持つ電気自動車の開発・販売を行う。同社の第3四半期納車台数は計画されていた一部工場の改修の影響から約43.5万台と市場予想を下回ったものの、2023年通年の納車台数目標は維持している。
5	マイクロソフト アメリカ 情報技術	4.0	世界最大手のソフトウェア開発、販売会社。同社はシーメンスと、AIを活用することで生産性を向上させ、人間と機械のコラボレーションを促進する共同プロジェクトを発表。また、売上高とEPSが市場予想を上回る良好な7-9月期決算を発表。
6	アドビ アメリカ 情報技術	3.3	米国のソフトウェア企業。デザインソフトでリーダーであるほか、文書、コンテンツ管理にも強みを持つ。同社はフォトショップ等を含む「Adobe Creative Cloud」にAIを活用した新機能の追加や生成AIを搭載した多くの新サービスを発表。
7	トウィリオ アメリカ 情報技術	3.1	開発者がリアルタイム・コミュニケーションを設計、調整、運用することが可能なクラウド・プラットフォームを提供。同社はソフトバンクとのパートナーシップを強化し、日本の企業や自治体にクラウド型のコミュニケーション・サービスの提供を開始すると発表。
8	アルファベット クラスA アメリカ コミュニケーション・サービス	3.0	「Google」を提供する検索エンジン、オンライン広告大手。携帯、地図、メール、クラウド、音楽、ゲーム、動画等あらゆるWebサービスを提供。同社の検索事業が堅調であり、売上高とEPSが市場予想を上回る良好な第3四半期決算を発表。
9	ショップファイ カナダ 情報技術	2.9	クラウドベースの商取引プラットフォームを提供。販売業者のブランドを紹介するのに役立つ各種広告プラットフォームを手掛ける。同社の流通取引総額がコロナ・パンデミック以降で最高水準になったことや、物流事業の見直しが奏功し、良好な四半期決算を発表。
10	オン・セミコンダクター アメリカ 情報技術	2.8	米半導体メーカー。電力や信号管理などに用いられるパワー半導体を主に扱う。市場予想を上回る第3四半期決算を発表。また、炭化ケイ素ウエハーの最大かつ最新の韓国富川工場の拡張が完了し、EVや産業機器向けに急増する需要に対応。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



## グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

## ＜市場動向＞

ハマスの予期せぬイスラエルへの攻撃がガザ地区以外へ波及することが懸念され、世界株式は下落しました。FRB（米連邦準備制度理事会）がタカ派（インフレ抑制を重視する立場）姿勢を維持していることや、第3四半期の企業業績がまちまちであったこともセンチメント（投資家心理）を悪化させました。米議会は10月下旬にマイク・ジョンソン氏が下院議長に僅差で選出されるまで議長不在が続き、法案の採択が滞りました。米議会は11月中旬までに予算案に合意しなければ、政府機関の閉鎖に直面します。

9月のECB（欧州中央銀行）理事会の議事要旨では、利上げが際どい判断であったことが示されました。ECBは10月の理事会で2022年7月以来の金利据え置きを決定しました。FRBも11月初めのFOMC（米連邦公開市場委員会）で金利を据え置きましたが、12月には0.25%の追加利上げが見込まれています。米国の第3四半期GDP（国内総生産）成長率は前期比年率4.9%と市場予想を上回りました。中国の第3四半期GDP成長率も前年比4.9%と市場予想を上回りました。

原油価格は中東情勢による供給制約が懸念されたものの、世界経済の先行き不透明感などから小幅に下落しました。一方で、欧州の天然ガス価格は急騰しました。地政学リスクの高まりを受け投資家が安全資産への逃避を求めたため、金価格は上昇し、1トロイオンス2,000米ドルと約6ヵ月ぶりの高値に接近しました。

世界株式（MSCI ACWI）のセクター別では、公益事業セクターが唯一プラス・リターンとなりました。次いで好業績を発表したマイクロソフトが牽引した情報技術セクターが相対的に堅調に推移しました。一方、一般消費財・サービスおよび資本財・サービスセクターはアンダーパフォームしました。

## ＜運用経過＞

10月のマザーファンドの基準価額は下落しました。

10月は、プロジェクトやタスク管理のソフトウェアを提供するアサナ、AIアプリケーション構築や運用のためのプラットフォームを提供するC3AIを新規購入しました。一方、競争環境の激化や今後の成長見通しなどを懸念し、アイデックスラボラトリーズやPTCを全売却しました。

## （寄与度上位銘柄）

自動車保険、損害保険、再保険サービスを提供するプログレッシブが10月の寄与度上位銘柄となりました。同社は損害率の改善と好調な保険引受によって、市場予想を上回る良好な決算を発表したことから株価は上昇しました。今後も、同社はイノベーションによって業界を牽引していくと考えています。テレマティクス（自動車等

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



## グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ヴォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

に搭載した通信システムを利用して提供される情報サービス）、データ分析、先進的な保険引受モデルの活用によって、より優良な運転手との契約を確保し、リスクの高い運転手との取引を回避できると考えています。保険業界全体が保険料を見直す中、同社は高いブランド力と販売網の優位性により、利益成長を伴って保険契約を拡大できるとみています。

製作者が魅力的なデジタル・マーケティングやメディア体験を創造できるソフトウェアを提供するアドビも10月の寄与度上位銘柄となりました。第4四半期決算についての前向きなコメントや同社のAI製品ロードマップに関する最新情報を発表したことから、株価は上昇しました。大規模かつ継続的なサブスクリプションビジネス、強固な収益構造、デジタル化の恩恵を受ける製品群を有していることから引き続き同社をポジティブにみています。また、生成AIが同社の製品ロードマップを牽引しており、新たな成長の原動力になりつつあると考えています。

## （寄与度下位銘柄）

電力管理やデータ管理アプリケーションで利用される半導体ソリューション大手のオン・セミコンダクターが10月の寄与度下位銘柄となりました。同社は市場予想を上回る四半期決算を発表したものの、複数の自動車メーカーが発注を削減したことから経営陣による見通しのコメントが投資家の期待を下回る結果となりました。私たちは、この影響が一時的なものであり、同社は2024年に回復を享受できると考えています。同社はEV（電気自動車）、データ・センター、SiC（炭化ケイ素パワー半導体）などの高成長が期待できる付加価値の高い半導体に注力しており、引き続き堅調に成長していくものと考えています。

太陽光発電業界向けのマイクロインバーターシステム、パワーオプティマイザー、ストレージ（補助記憶装置）システムの設計・開発・製造・販売を行うエンフェーズ・エナジーも10月の寄与度下位銘柄となりました。同社はまちまちな決算を発表したことに加えて、金利の上昇によって住宅用の太陽光発電需要が予想以上に鈍化したため、過剰在庫を整理する必要性から来四半期見通しを大幅に下方修正しました。しかし、長期的に同社はマイクロインバーターのリーダー的企業であり、住宅用太陽光発電システムのバックアップ蓄電システムの装着率の急速な上昇や、スマート・グリッド・システムの拡大から恩恵を受けると考えています。

## ＜市場見通し及び今後の運用方針＞

過去数カ月のマクロ経済は概ねまちまちなものとなりました。GDPや雇用統計は経済の底堅さを示しているものの、緊迫さが増した中東情勢がリスクを高めています。また、インフレはこれまでのところ高止まりしており、

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



## グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ウォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

主要中央銀行は金融引き締めスタンスを維持せざるを得なくなっています。金融政策は、経済や金融システムを通じて機能するため、効果が表れるまでに長い時差があり、影響幅も大きくなります。そのため、FRBの長期にわたって高金利を維持する姿勢は、インフレを正常化へと導くと考えています。一方で、足元の長期債利回りの上昇圧力は、FRBの追加利上げが必要でないような金融引き締め効果をもたらす可能性があります。つまり、継続的な金融引き締め政策は、経済の予期せぬ失速をもたらすリスクがあります。

その結果として、株式市場は経済成長の失速、高金利の長期化シナリオ、地政学的不透明感の高まりといったリスクをいち早く織り込みました。これまでのところ、第3四半期の企業業績は概ね事前予想通りか、事前予想をやや上回っているものの、株価の反応はまちまちとなっています。2023年上期は株式市場、特に超大型テクノロジー銘柄の株価が大幅に回復し、足もとでは経済リスクを素早く消化しようとしているように見受けられます。経済成長が鈍化する時期や市場環境がボラタイル（変動の激しい）な時でも業績が底堅い企業に引き続き注目しています。また、イノベーションやイノベーションに対する投資が旺盛な企業を引き続き選好していきま

す。AIはあらゆる産業に影響を与え、投資家に新たな価値を提供できると考えられるため、長期的な観点から当ファンドは収益機会を獲得できると考えています。

年初来、米国株式市場はAIの導入拡大によって恩恵を受けるとみられる銘柄が選好されました。このテクノロジーに関して明確なビジネステーマを示すことができた半導体関連、クラウド、ソフトウェア・サービス・プロバイダーが足もとでは勝ち組となっています。企業の決算説明会では引き続きAI全般について言及され、生成AIの話題が大幅に増加しました。また、私たちは最近、情報技術関連企業での重要な意思決定者300名に対し、「今後5年間で貴社に最も大きな影響を与えると思われるテクノロジーは何か」と調査を行った結果、最も多い回答はAIと機械学習となりました。しかし、テクノロジー分野以外では景気後退懸念から株価は軟調に推移しており、AIからのポジティブなモメンタム（勢い）が株式市場全体に広がるかは不透明です。

生成AIとGPTの技術について、エッジインテリジェンスに必要な複雑なAIモデルのトレーニングや推論を支えるコンピューティング要件を考えると、特にAIインフラストラクチャー分野の企業は長期的に需要の増加から恩恵を享受すると考えています。AI開発分野は、これらの新しいツールやテクノロジーの機能を最適化するために必要です。また、AI活用分野の企業は顧客エンゲージメントと体験を強化するためや生産性向上のためのサービスにGPT関連機能を追加することを既に発表しています。私たちは生成AIの活用はまだ一部でしかみられず、ソフトウェアの進化によって次第にあらゆるビジネスにおいて更なる活用が広まると考えています。

全体として、私たちはAIの進歩と開発によってもたらされた大規模な破壊的変化のごく初期の段階にあると考えています。これらの変化は、それぞれの産業においてAIを活用することが出来る企業に大きな成長を促進し、

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用





## グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

※ このページは「グローバルAIエクイティ・マザーファンド」について、ヴォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

**ファンドマネージャーコメント**

ディスラプション（創造的破壊）を引き起こすと考えています。また、AIがもたらすディスラプションからの成長の複合的な効果は、より大きく長期的な株主価値の創造をもたらすとも考えています。現在のようなディスラプションと変化により特徴づけられる投資環境において、こうした投資機会を捉えるためには、銘柄選択が非常に重要な鍵となると考えています。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

## グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにございます。

グローバルAIファンド : (為替ヘッジなし)  
 グローバルAIファンド（為替ヘッジあり） : (為替ヘッジあり)

1. グローバルAIエクイティ・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界的上場株式\*の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。
  - AIテクノロジーの開発のほか、AIの開発に必要なコンピューティング技術、AIを活用したサービス、ソフトウェア・アプリケーションの提供を行う企業や、AIを活用したサービスを駆使して自社ビジネスを成長させる企業等に投資を行います。
  - AI（人工知能）とは、Artificial Intelligenceの略です。人間のように自ら学び発達していくコンピューター・プログラムをさします。

\* 上場株式には、不動産投資信託（REIT）も含まれます。
2. AIに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーが実質的な運用を行います。
  - マザーファンドの運用にあたっては、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
3. 対円での為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジなし）と（為替ヘッジあり）の2つのファンドからご選択いただけます。
  - （為替ヘッジなし）  
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
  - （為替ヘッジあり）  
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全な為替変動リスクを回避することはできません。

※一部の通貨については、他の通貨を用いた為替ヘッジを行う場合があります。直物為替先渡取引（NDF）を利用することもあります。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

## 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

## ■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



## グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## 投資リスク

## ■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ■ 為替変動リスク

（為替ヘッジなし）

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

（為替ヘッジあり）

【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円で為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

## ■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

## ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

【分配金に関する留意事項】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- （為替ヘッジあり）為替取引を行う場合、直物為替先渡取引（NDF）を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等の影響により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。したがって、実際の為替市場や金利市場の動向から想定される動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、当該取引において、取引先リスク（取引の相手方の倒産等により取引が実行されないこと）が生じる可能性があります。
- ファンドが活用する店頭デリバティブ取引（NDF）を行うために担保または証拠金として現金等の差入れがさらに必要となる場合があります。そ

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



## グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## 投資リスク

## その他の留意点

の場合、ファンドは追加的に現金等を保有するため、ファンドが実質的な投資対象とする資産等の組入比率が低下することがあります。その結果として、高位に組み入れた場合に比べて期待される投資効果が得られず、運用成果が劣後する可能性があります。

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。



## グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## お申込みメモ

## 購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

## 購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

## 購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

## 換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

## 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

## 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## 信託期間

（為替ヘッジなし）

2026年9月25日まで（2016年9月9日設定）

（為替ヘッジあり）

2026年9月25日まで（2017年2月10日設定）

## 決算日

毎年9月25日（休業日の場合は翌営業日）

## 収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

## 課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

## お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日

## スイッチング

販売会社によっては、以下のファンドの間でスイッチングを取り扱う場合があります。

- グローバルAIファンド
- グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）
- グローバルAIファンド（予想分配金提示型）
- グローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）

※グローバルAIファンド（予想分配金提示型）およびグローバルAIファンド（為替ヘッジあり予想分配金提示型）については、当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。また、販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## ファンドの費用

## 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
購入価額に**3.30%（税抜き3.00%）を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額  
ありません。

## 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に**年1.925%（税抜き1.75%）**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
  - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
  - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
  - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。  
 ※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

## 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

## 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a> コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社りそな銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、投資信託財産の運用を行います。 ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	日本一般社団法人投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号	○	○	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○		○	○		
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号	○		○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第15号	○		○	○		
a u カブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○		※1
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号	○					
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2938号	○					※2
G M O クリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第77号	○	○		○		
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○					
七十七証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第37号	○					
スターツ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第99号	○		○			
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者 九州財務局長（金商）第1号	○					
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第128号	○					
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○		
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第6号	○					
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○		○		
とっほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第36号	○					
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号	○	○				
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第24号	○	○				
西日本シティ T 証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○					
野村証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○		
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第21号	○		○			
浜銀 T T 証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1977号	○					
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○					
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第20号	○					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○		○			
北洋証券株式会社	金融商品取引業者 北海道財務局長（金商）第1号	○					
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○		○			

備考欄について

※1：「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」のみネット専用※2：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	登録金融機関	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
リテラ・クリア証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第199号	○					
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○					
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第12号	○					※1
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○			○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○					
株式会社SBI新生銀行（SBI証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○			○		※3 ※4
株式会社SBI新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○			○		※3 ※5
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第117号	○			○		
株式会社紀陽銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第8号	○					
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号	○			○		※2
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○					
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第16号	○					※2
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○			○		※2
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○	○		○		※2
株式会社大光銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第61号	○					
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第17号	○					※6
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号	○			○		
株式会社筑波銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第44号	○					
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第579号	○			○		
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第7号	○					※2
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第60号	○					※2
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第11号	○					
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○					
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第7号	○					
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第19号	○					※2
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第15号	○					
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○			○		
株式会社八十二銀行（仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○			○		※7
株式会社東日本銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第52号	○					
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○			○		

### 備考欄について

※1：「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」のみネット専用※2：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。※3：ネット専用※4：委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券※5：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※6：「グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）」の新規の募集はお取り扱いしておりません。※7：委託金融商品取引業者 八十二証券株式会社

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用





# グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## 販売会社

販売会社名	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第5号	○			○		
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○			○		※3
株式会社福岡中央銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第14号	○					※2
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○			○		
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第3号	○			○		
株式会社北洋銀行（仲介）	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第3号	○			○		※8
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○			○		※2
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第22号	○			○		※2
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第38号	○					
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○			○		
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第12号	○					※2
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○			○		
朝日信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第143号	○					※2
足立成和信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第144号						※2
遠州信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第28号						※2
青梅信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第148号	○					※2
大垣西濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第29号						※2
大川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第19号						※2
大田原信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第219号						※2
大牟田柳川信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第20号						※2
帯広信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第15号						※2
川崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第190号	○					※2
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第34号						※2
北群馬信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第233号						※2
京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第53号	○					※2
京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第54号						※2
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第25号						※2
桑名三重信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第37号						※2
甲府信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第215号						※2
佐賀信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第25号						※2
さわやか信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第173号	○					※2

備考欄について

※2：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。※3：ネット専用※8：委託金融商品取引業者 北洋証券株式会社

# グローバルAIファンド / グローバルAIファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
しのめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第232号					※2
芝信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第158号					※2
城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第147号	○				※2
白河信用金庫	登録金融機関	東北財務局長（登金）第36号					※2
新庄信用金庫	登録金融機関	東北財務局長（登金）第37号					※2
静岡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第43号	○				※2
瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第46号	○				※2
但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第67号					※2
玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第30号					※2
多摩信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第169号	○				※2
知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第48号					※2
東濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第53号	○				※2
栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第224号					※2
鳥取信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第35号					※2
豊田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第55号	○				※2
豊橋信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第56号					※2
奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第71号	○				※2
新潟信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第249号					※2
西尾信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第58号	○				※2
西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第29号					※2
浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第61号					※2
半田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第62号					※2
飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第203号					※2
姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第80号	○				※2
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第81号	○				※2
平塚信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第196号					※2
福井信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第32号					※2
福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第24号	○				※2
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第66号	○				※2
水島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第48号					※2
大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第88号	○				※2
留萌信用金庫	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第36号					※2

備考欄について

※2：「グローバルAIファンド」のみのお取扱いとなります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



## グローバルA Iファンド / グローバルA Iファンド（為替ヘッジあり）

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2023年10月31日

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

